

重点 仕事と家庭，社会貢献が調和できる
戦略 「真のワーク・ライフ・バランス戦略」

－ 京プランに掲げた「基本的な考え方」－

若者をはじめ，市民ひとりひとりが仕事や家庭生活，社会貢献などにおいて，生きがいと充実感を得て人生が送れる真のワーク・ライフ・バランスを定着させる。

そのために，だれもがともに能力を発揮できる労働環境の整備，子育てや介護などの負担軽減のための支援強化や男性の積極的な参加の促進，地域社会における活動に参加しやすい条件の整備，生涯を通じて学び続けられ，その学びを社会に還元することができる環境の整備などを行う。

－ 京プラン後半期における取組の方向性－

京プランで新たに掲げた「真のワーク・ライフ・バランス」の理念^{*}は，十分に浸透しているとは言えない状況にある。

このため，市民ひとりひとりがライフスタイル・ライフステージに応じて実践していくための環境整備，普及啓発・情報発信の更なる強化を図る。

とりわけ，男性の家庭生活への主体的な参画を促進し，社会のあらゆる分野で男女共同参画をより一層推進すると同時に，働き方改革に取り組む企業等への支援を積極的に行うことにより，幅広い世代の地域活動等への更なる参加を促進する。

主な共汗指標

① 「真のワーク・ライフ・バランス」という言葉の周知度

(「真のワーク・ライフ・バランス」に関する市民アンケートで「言葉も意味も知っていた」「言葉は聞いたことがある」と回答した割合の合計)

－ (23年度) ⇒ 23.3% (27年度) ⇒ **目標** 50% (32年度)

② 「真のワーク・ライフ・バランス」を実現できているひとの割合

(「真のワーク・ライフ・バランス」に関する市民アンケートで「実現できている」「どちらかといえば実現できている」と回答した割合の合計)

14% (23年度) ⇒ 46.2% (27年度) ⇒ **目標** 50% (32年度)

③ 「真のワーク・ライフ・バランス」の推進を宣言している企業数

68社 (23年度) ⇒ 1,408社 (26年度) ⇒ **目標** 3,200社 (32年度)

重点プロジェクト

1 「真のワーク・ライフ・バランス」認知度アッププロジェクト **新規**

仕事や家庭生活との調和を図りながら、地域活動や社会貢献に積極的に取り組む「真のワーク・ライフ・バランス」を推進するため、「真のワーク・ライフ・バランス」の日の設定、推進宣言大使の創設、ロゴマークの更なる活用など、とりわけ若い世代の知恵を生かして、ライフスタイル・ライフステージに応じた、認知度の向上、理解の促進、更には実践の輪を広げる取組を進める。

2 働き方改革に向けた環境整備の推進

仕事と家庭生活、更には地域活動や社会貢献活動との調和を図り、子育て・介護を理由とする離職をなくすため、中小企業の実情も踏まえつつ、長時間労働の是正などの働き方改革を進める。このため、企業・事業者向けに男性の育児休業取得奨励金制度を創設するとともに、家庭生活に加え、地域活動や社会貢献活動において従業員への配慮・推奨などに積極的に取り組む企業への支援や顕彰を行い、広く情報発信する。

3 男性が主体的に家事・子育て・介護等家庭生活に関わることができる環境・気運づくりの推進

各種セミナー等の開催や NPO や市民活動団体等とも連携を図り、親子参加型イベントへの男性の参加を促すほか、家事・子育て・介護等と仕事との両立に取り組む男性のロールモデル（模範）を発掘し、顕彰、情報発信を行うなど、男性が主体的に家事・子育て・介護等に関わる気運の醸成や環境づくりに取り組む。

4 結婚を望むひとを応援する「婚活支援事業」の更なる推進

結婚を望む未婚の男女に対し、共に人生を歩むパートナーとのつながりを築くきっかけとなる出会いと交流の場を提供する婚活イベントを実施する。また、ホームページ等による婚活に役立つ情報発信の強化を図る。

戦略を推進する3つの柱

柱1 だれもがともに能力を発揮できる労働環境の整備や子育てや介護などの負担軽減のための支援強化

- ① 「真のワーク・ライフ・バランス」推進計画の更なる推進に向けた市民・経済団体等との意見交換会の実施 **新規**
- ② 企業における「真のワーク・ライフ・バランス」の実現を支援するアドバイザーの派遣
- ③ 経済団体、京都府、京都労働局等との連携による「輝く女性応援京都会議」を核とした女性の活躍に向けた取組の推進

－別掲・再掲事業－

- ④ 京都の強みを活かした産業振興による安定した雇用の創出やひとづくりの推進<P40>
- ⑤ 不本意非正規の正規化など安定雇用に向けた京都ならではの働き方改革推進<P40>
- ⑥ 中小企業と若者・学生とのマッチングなど中小企業の働き手・担い手確保支援の推進<P38>
- ⑦ 幼児教育・保育の充実と経済的負担の軽減<P47>
- ⑧ 次世代のはぐくみと妊娠前から出産・育児まで切れ目のない支援<P47>
- ⑨ 子育て支援拠点としての幼稚園，保育園（所），認定こども園，児童館等の機能強化<P48>
- ⑩ 放課後の子どもたちの居場所づくりの充実<P47>
- ⑪ 質の高い幼児教育・保育を提供するための保育士等確保に向けた取組の推進<P48>
- ⑫ 特別養護老人ホームをはじめとする介護サービス基盤の充実<P62>
- ⑬ 介護・福祉を支える担い手の育成・確保支援<P62>

柱2 地域活動に参加しやすい条件整備，生涯学び続けられ，その学びを社会に還元することができる環境整備

- ① 積極的に取り組む市民を発掘する「真のワーク・ライフ・バランス応援・発信プロジェクト」（「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード募集及び表彰）
- ② より質の高い生涯学習事業の推進
- ③ 図書の実質や駅等での返却システム構築など利便性向上による一層身近な図書館づくり

－別掲・再掲事業－

- ④ 地域活動や市民活動団体への幅広い世代や主体の参加・連携による担い手の創出・育成<P56>
- ⑤ 区役所・支所と各種団体，NPO，保育所，学校・PTA・学校運営協議会，大学，企業との連携の推進<P56>
- ⑥ 若者の地域活動への参加促進<P56>
- ⑦ 市民ぐるみで健康づくりに取り組む「世界一健康長寿のまち・京都」推進プロジェクト<P60>
- ⑧ 高齢者が地域の支え手として活躍できる仕組みづくり<P62>
- ⑨ 「真のワーク・ライフ・バランス」の実現に向け，本市職員が率先して仕事と家庭生活を調和させ，地域で京都のまちづくりなどに取り組むことができる職場づくりの推進<P98>

柱3 「真のワーク・ライフ・バランス」が実現した社会づくりのための啓発及び 情報発信

- ① 「真のワーク・ライフ・バランス」のキャラクター制作やマンガ等を活用した
親しみやすい情報発信
- ② 家庭での家事・子育て，仕事，地域活動など，女性の様々な“輝き方”の
情報発信 新規

〈用語説明〉

- ※ 「真のワーク・ライフ・バランス」の理念：
仕事と家庭生活の調和だけでなく，地域活動や社会貢献活動等に積極的に参加することによって，誰もが生きがいと充実感を持って，心豊かな人生を送ることができるという，京プランに掲げた考え方